

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援センターいるか かせだ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 10日	～	令和7年 1月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月9日	～	令和7年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	平日の活動や長期休暇時には多彩な活動を多く取り入れている。屋外活動を多く取り入れ、外でのマナーなど学ぶ機会を多く取り入れている。また、活動内容などは、利用児の意見を多く取り入れている。	同じ活動でも、ねらいを変えて飽きないように工夫している。こどもの発達に応じた工程で行っている。	保護者様の意見等も取り入れていき、色々な活動を経て、できることを増やしていきたい。
2	異年齢と組み合わせでの活動を行っている。組み合わせることにより、協調性や社会性といった必要な能力を身に付けている。	体の大きさなどもあるため、怪我などには十分に配慮している。特性にて、多動なこどもも居る為、職員が一人つくようにしている。	転倒や怪我の防止に努めながら、安心、安全に活動を取り組み、周りを見て行動し、見通しが持てるように支援する。
3	各関係機関との連携。担当者会議などでは、関係機関の殆どの方が参加。	利用児や保護者様の様子や変化などの時は、担当相談支援事業所に相談を行い、会議など開催し、情報の共有を図っている。	継続して、各関係機関と連携を図りながら、安心して地域の中で過ごせる環境を作りたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会や保護者同士のつながりが少ない。	日頃から就労されている保護者様が多く、平日に時間を取ることが難しい。	振替休日等を使い、保護者様やきょうだい児の集まれる機会を増やし交流を図りたい。色々な方と交流を深めてもらうために、法人全体で取り組んでいきたい。
2	学童クラブや地域交流の機会が持てていない。	併用利用している学童クラブとの連携がうまくいっていない。	長期休暇など利用して、併用利用しているこどもの学童クラブにて交流できる機会を設けていきたい。また、地域のイベントにも積極的に参加し地域との交流も図っていく。
3			